

第3回みよし市火葬場建設候補地選定委員会 次第

と き：令和7(2025)年8月1日(金)

午後3時から

ところ：みよし市役所3階 研修室

1 挨拶

2 議題

(1) 二次選定評価項目及び評価基準について

資料 No. 1

(2) 火葬場建設候補地二次選定について

資料 No. 2

3 その他

◆ 火葬場建設候補地一次選定 現地確認後委員評価まとめ

番号	主な地名	評価しない 意見の数	主な意見
1	黒笹町小持松	8	自然環境の保全 道路整備要（アクセス至難） 浸水想定区域該当
2	三好丘旭4丁目	0	
3	筋生町あざみ	0	
5	福谷町根浦	10	住宅・工場から近い （平坦地なので近く感じる）
7	打越町百々・山ノ間・石坂	8	道路整備要（アクセス至難） 液状化区域該当 近隣住宅からの見晴らし
10	三好町平子・八和田山	8	病院・福祉施設から近い 農地（果樹園）・景観の保全
11	三好町植松・高根	5	農地（果樹園）・景観の保全
14	明知町平成	6	農地（果樹園）・景観の保全

議題 1 二次選定評価項目及び評価基準について

二次選定評価項目の区分

(1) 立地及び周辺環境に関する評価項目

法規制・利便性・周辺の土地利用状況 など

関連する基本方針

③周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設

(2) 経済性及び事業効率性に関する評価項目

用地取得・インフラ整備・敷地の状況 など

関連する基本方針

④環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設

(1) 立地及び周辺環境に関する評価項目（その1）

評価の視点		評価項目
立地	考慮すべき地域	①都市計画法上の用途地域
		②農地法の該当
		③埋蔵文化財包蔵地の有無
	災害リスク	④浸水想定区域の有無
		⑤土砂災害（特別）警戒区域の有無
		⑥砂防3法（砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域・地すべり防止区域）の有無
	利便性	⑦幹線道路からのアクセス
		⑧市内葬儀場からの距離
	景観	⑨敷地周囲の景観
		⑩周辺の開発計画の状況（周辺環境の安定性）

関連基本方針：③周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設

(1) 立地及び周辺環境に関する評価項目（その2）

評価の視点		評価項目
周辺環境	配慮すべき施設	⑪学校等教育施設までの距離
		⑫病院・福祉施設までの距離
		⑬商業・集客施設までの距離
	生活圏の近接度	⑭住宅までの距離
		⑮周囲の住宅の数
		⑯通学路該当の有無
	周辺環境への影響	⑰生活関連道路の通過
		⑱周辺からの遮蔽性（周囲に与える影響）
	落ち着いた環境	⑲周囲の自然環境
		⑳騒音要因の状況（近くに騒音発生源がない）

関連基本方針：③周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設

(2) 経済性及び事業効率性に関する評価項目

評価の視点		評価項目
経済性	事業費の多寡	②①用地取得費
		②②道路整備費
		②③土地造成費
		②④水道管の状況
		②⑤都市ガスの状況
事業効率性	整備のしやすさ	②⑥敷地の状況
		②⑦配置計画のしやすさ（敷地の形状）
		②⑧建設工事のしやすさ
		②⑨用地確保のしやすさ
		③⑩事業完了までの想定期間

関連基本方針：④環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設

評価方法（案）

- ・ **各評価項目について 3 段階で評価**
（ 3 点 ・ 2 点 ・ 1 点 ）
- ・ **該当の有無のみを判断する評価項目は 2 段階で評価**
（ 3 点 ・ 1 点 ）
- ・ **重要度の高い評価項目は評価点に重みを加える**
（ 6 点 ・ 4 点 ・ 2 点 ）

資料 1（別添①）

火葬場建設候補地二次選定評価項目・評価基準（案）

参照

評価項目・評価方法・評価基準

検討 ⇒ 決定 ⇒ 評価

資料 1（別添②）

二次選定評価対象候補地概要図

参照

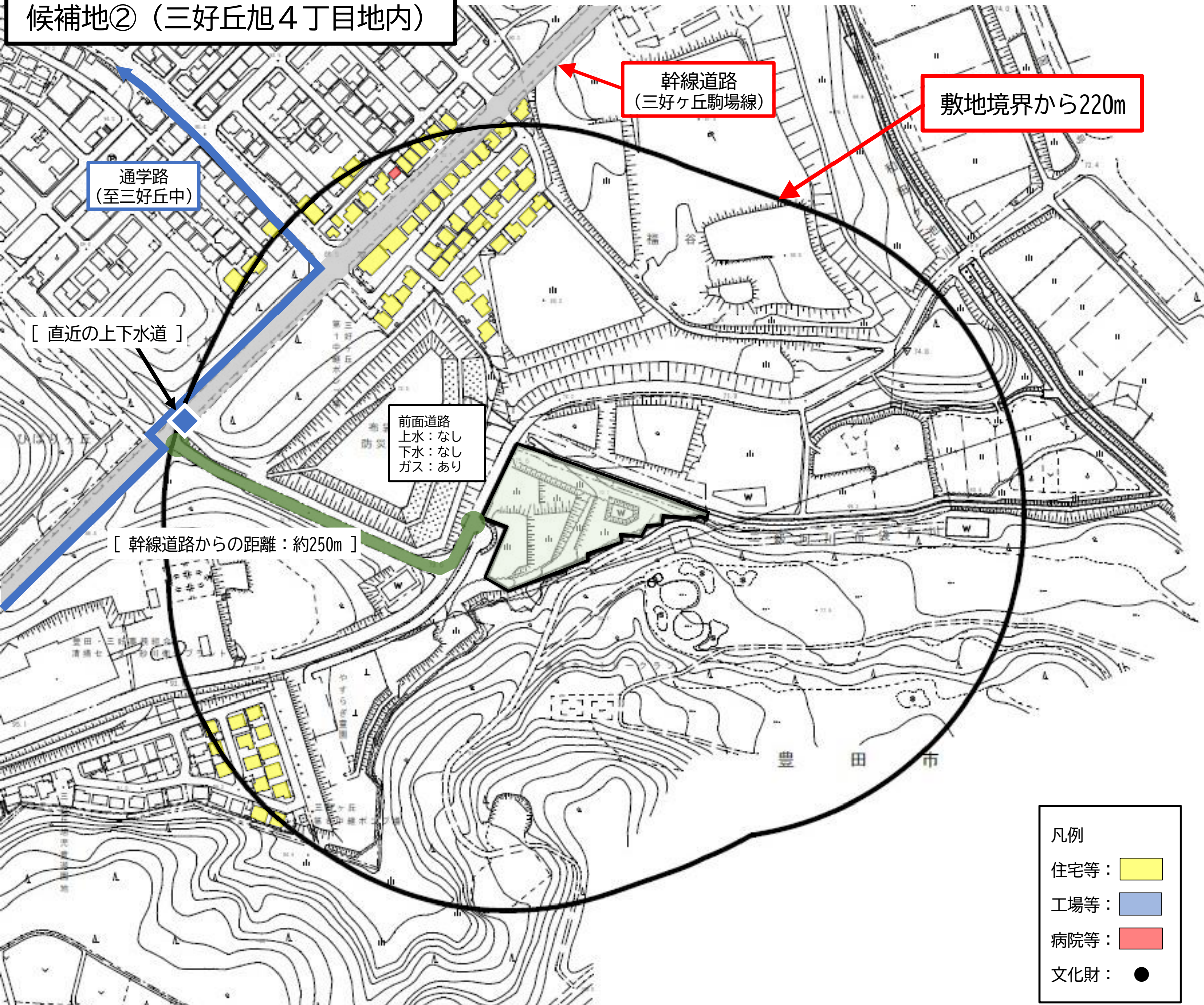
評価の区分 （基本方針）	評価の視点	評価項目	評価方法	評価基準・配点			備 考 <div>考え方等</div>
				3	2	1	
(1)立地及び周辺環境に関する項目 （立地） 基本方針③： 周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設	考慮すべき地域	① 都市計画法上の用途地域	用途地域による影響の少ない場所を優れていると評価する。 確認：都市計画総括図	用途地域指定なし （市街化調整区域）	用途地域指定あり （工業系・商業系）	用途地域指定あり （住居系）	住居系用途地域では大規模な建築物の建設は好ましくなく、また、工業系用途地域や商業系用途地域では周囲の状況によって景観を損なうおそれや騒音の心配があるため、該当しない場所を高く評価する。
		② 農地法の該当	農地法の規制区域に該当していない場所を優れていると評価する。 確認：農業振興地域整備計画土地利用計画図	農業振興地域内ではない	農業振興地域内であるが、農用地区域ではない	農業振興地域内の農用地区域である	農業振興地域は農業の振興を図る地域として指定された地域であり、農用地区域は、農業振興地域の中でもさらに優良農地としての保全を図る場所として指定されているため、該当しない場所を高く評価する。
		③ 埋蔵文化財包蔵地の有無	埋蔵文化財包蔵地に該当しない場所を優れていると評価する。 確認：愛知県文化財マップ、市担当課	周辺に埋蔵文化財包蔵地が無い		周辺に埋蔵文化財包蔵地が有る	文化財は保存・活用していくことが望ましく、また、文化財の調査や保存に時間と費用を要する可能性があるため、該当しない場所を高く評価する。
	災害リスク	④ 浸水想定区域の有無	浸水想定区域に該当しない場所を評価する。 確認：洪水・土砂災害ハザードマップ	浸水想定区域に該当していない		浸水想定区域に該当している	安全性確保のため、自然災害に対する危険度が低い場所として、浸水想定区域に該当しない場所を高く評価する。 一次選定で該当地は除外している。
		⑤ 土砂災害（特別）警戒区域の有無	土砂災害（特別）警戒区域に該当しない場所を評価する。 確認：洪水・土砂災害ハザードマップ	土砂災害（特別）警戒区域に指定されていない		土砂災害（特別）警戒区域に指定されている	安全性確保のため、自然災害に対する危険度が低い場所として、土砂災害（特別）警戒区域に該当しない場所を高く評価する。 一次選定で該当地は除外している。
		⑥ 砂防3法（砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域）の有無	砂防3法に該当しない場所を評価する。 確認：砂防指定区域図、土砂災害情報マップ	砂防3法の指定区域に該当していない		砂防3法の指定区域に該当している	安全性確保のため、自然災害に対する危険度が低い場所として、砂防3法に該当しない場所を高く評価する。
	利便性	⑦ 幹線道路からのアクセス	幹線道路からアクセスしやすい場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図など	幹線道路からの距離が500m未満	幹線道路からの距離が500m以上1km未満	幹線道路からの距離が1km以上	周囲への影響を与えず、霊柩車などの会葬車両が円滑に進入しやすいように、幹線道路からの距離が近い場所を高く評価する。
		⑧ 市内葬儀場からの距離	市内葬儀場からの距離が近い場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図など	市内葬儀場の重心地からの距離が3km未満	市内葬儀場の重心地からの距離が3km以上5km未満	市内葬儀場の重心地からの距離が5km以上	市内葬儀場と火葬場との往来がしやすいように、市内葬儀場の重心地からの距離が近い場所を高く評価する。
	景観	⑨ 敷地周囲の景観	良好な景観が守られている場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図、現地確認など	敷地周囲に自然な風景が残されている		敷地周囲の宅地化が進んでいる又は周囲に大規模な工作物がある	葬送の場としての雰囲気を確保するため、良好な景観が守られている場所を高く評価する。
		⑩ 周辺の開発計画の状況（周辺環境の安定性）	事業完了後も良好な景観が保全される場所を優れていると評価する。 確認：現地調査、都市計画マスタープランなど	開発の計画が無い		開発の計画が有る又は見込まれる	葬送の場としての雰囲気を確保するため、周辺の開発計画が無い場所を高く評価する。

評価の区分 （基本方針）	評価の視点	評価項目	評価方法	評価基準・配点			備 考 <div>考え方等</div>
				3	2	1	
(1)立地及び周辺環境に関する項目 （周辺環境） 基本方針③： 周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設	配慮すべき施設	⑪ 学校等教育施設までの距離	敷地境界から220m以内に学校等教育施設が無い場所を評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	220m以内に該当施設が無い		220m以内に該当施設が有る	教育施設利用者に配慮するため、該当しない場所を高く評価する。
		⑫ 病院・福祉施設までの距離	敷地境界から220m以内に病院等が無い場所を評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	220m以内に該当施設が無い		220m以内に該当施設が有る	医療福祉施設利用者に配慮するため、該当しない場所を高く評価する。
		⑬ 商業・集客施設までの距離	敷地境界から220m以内に商業・集客施設が無い場所を評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	220m以内に該当施設が無い		220m以内に該当施設が有る	商業・集客施設利用者に配慮するため、また、多くの人が集まる商業・集客施設周辺は静穏な環境が阻害されるおそれがあるため、該当しない場所を高く評価する。
	生活圏の近接度	⑭ 住宅までの距離	敷地境界から住宅までの距離が離れている場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	220m以内に住宅が無い		220m以内に住宅が有る	住宅からの距離が保たれ、施設整備時及び稼働時における周辺への影響が少ない場所を高く評価する。また、周辺住民からの心理的距離を確保できる場所を高く評価する。
		⑮ 周囲の住宅の数	周囲に住宅が少ない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	220m以内に住宅が無い	220m以内の住宅は10軒未満	220m以内の住宅が10軒以上	近隣に住宅が少なく、施設整備時及び稼働時における周辺への影響が少ない場所を高く評価する。
		⑯ 通学路該当の有無	幹線道路から敷地までの道路が通学路に該当していない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図、市担当課確認など	通学路に該当しない		通学路に該当する	通学路の安全確保及び児童生徒の安全対策を考慮し、該当しない場所を高く評価する。
	周辺環境への影響	⑰ 生活関連道路の通過	霊柩車などの会葬車両が生活関連道路を通過する必要がない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図	生活関連道路を通過する必要は無い	生活関連道路を通過するが、十分な幅員が確保されている	生活関連道路を通過する必要があり、かつ十分な幅員が確保されていない	周辺住民の日常生活に影響を与える影響が少ない場所を高く評価する。
		⑱ 周辺からの遮蔽性 （周囲に与える影響）	周辺からの遮蔽性が容易に確保できる場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、現地確認	既存緑地等で遮蔽可能である	植樹、盛土等の対策を講じることにより遮蔽可能である	遮蔽することが難しい	施設周辺の環境との調和を図るため、緑地等による緩衝空間を設けやすい場所を高く評価する。
	落ち着いた環境	⑲ 周囲の自然環境	緑地が多く周囲と調和した整備が可能な場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、現地確認	敷地の周囲が宅地化されておらず、緑地が多く残されている	敷地の周囲が宅地化されていない	敷地の周囲が宅地化されている	静穏な環境を確保するため、敷地や敷地周囲に緑地が多く、周囲と調和した整備がしやすい場所を高く評価する。
		⑳ 騒音要因の状況 （近くに騒音発生源が無い）	周囲に騒音の発生のおそれが少ない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、現地確認	騒音発生要因となる施設等が近くに無い	騒音の影響が考えられる	騒音発生要因となる施設が近接している	静穏な環境を確保するため、周囲に騒音の発生のおそれがある施設が無い場所を高く評価する。

評価の区分 （基本方針）	評価の視点	評価項目	評価方法	評価基準・配点			備 考 <div>考え方等</div>
				6	4	2	
(2)経済性及び事業効率性に関する項目 （経済性） 基本方針④： 環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設	事業費の多寡	㉑ 用地取得費	用地取得費が少ない場所を優れていると評価する。 確認：固定資産評価額、標準宅地価格など	概算費用による評価			想定される敷地面積（約7,000㎡）の概算取得価格を算出し、用地取得費が抑えられる場所を高く評価する。
		㉒ 道路整備費	道路整備費が少ない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、国土地理院地図、現地確認など	道路の拡幅が必要ない	道路の拡幅が必要である	新たな道路の整備が必要である	道路の拡幅や新設の必要が無く、道路整備費が抑えられる場所を高く評価する。
		㉓ 土地造成費	土地造成費が少ない場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、国土地理院地図、現地確認など	整地されていて造成工が必要ない	造成工が必要である	法面・擁壁などの大規模な造成工が必要である	造成工の必要が無く、造成工事費が抑えられる場所を高く評価する。
		㉔ 水道管の状況	上水道の供給が容易な場所を優れていると評価する。 確認：道路台帳（地下埋設物台帳）	接する道路に水道管が敷設されている		接する道路に水道管が敷設されていない	上水道の供給が容易な場所を高く評価する。
		㉕ 都市ガスの状況	都市ガスの供給が容易な場所を優れていると評価する。 確認：道路台帳（地下埋設物台帳）	接する道路にガス管が敷設されている		接する道路にガス管が敷設されていない	都市ガスの供給が容易な場所を高く評価する。
(2)経済性及び事業効率性に関する項目 （事業効率性） 基本方針④： 環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設	整備のしやすさ	㉖ 敷地の状況	地形的に安定している場所を優れていると評価する。 確認：国土地理院地図、大規模盛土造成地マップなど	人工改変地形（盛土地・埋立地等）でない		人工改変地形（盛土地・埋立地等）である	地形分類等から、地盤が安定している場所や過去に造成工事等が行われていない場所を高く評価する。
		㉗ 配置計画のしやすさ （敷地の形状）	整形地で高低差が小さく、建設等における施設配置がしやすい場所を優れていると評価する。 確認：公図、現地確認など	施設配置の自由度が高い（整形地かつ高低差が小さい）	施設配置に調整が必要（変形敷地又は高低差が大きい）	施設配置に制限が多い（変形敷地かつ高低差が大きい）	整形な土地の方が建物を配置しやすいため、整形地で、かつ高低差が少ない場所を優れていると評価する。
		㉘ 建設工事のしやすさ	敷地周辺の状況により建設工事に制限がかからない場所や工事車両が円滑に出入りできる場所を優れていると評価する。 確認：Googleマップ、住宅地図、現地確認など	建設工事の際に曜日や時間等の制限が無く、かつ工事車両が円滑に出入りできる	建設工事の際に近隣との調整が必要になる又は工事車両が円滑に出入りできない	建設工事の際に工程や状況に応じて休工期間が発生し、かつ工事車両が円滑に出入りできない	周辺環境に影響が無く、工事車両が円滑に出入りできる場所を高く評価する。
		㉙ 用地確保のしやすさ	用地確保のために地権者との交渉が必要ない場所を優れていると評価する。 確認：登記簿	想定される地権者がいない（市有地）		想定される地権者がいる（民有地）	事業完了までの期間を考慮し、地権者と用地確保のための交渉が必要ない場所を高く評価する。
		㉚ 事業完了までの想定期間	事業完了までに想定される期間が短い場所を優れていると評価する。	用地取得及び道路整備の必要がない	用地取得又は道路整備の必要がある	用地取得及び道路整備の必要がある	事業の確実性が高く、事業完了までに想定される期間が短くなるため、用地取得や道路整備の必要が無い場所を高く評価する。

候補地②（三好丘旭4丁目地内）

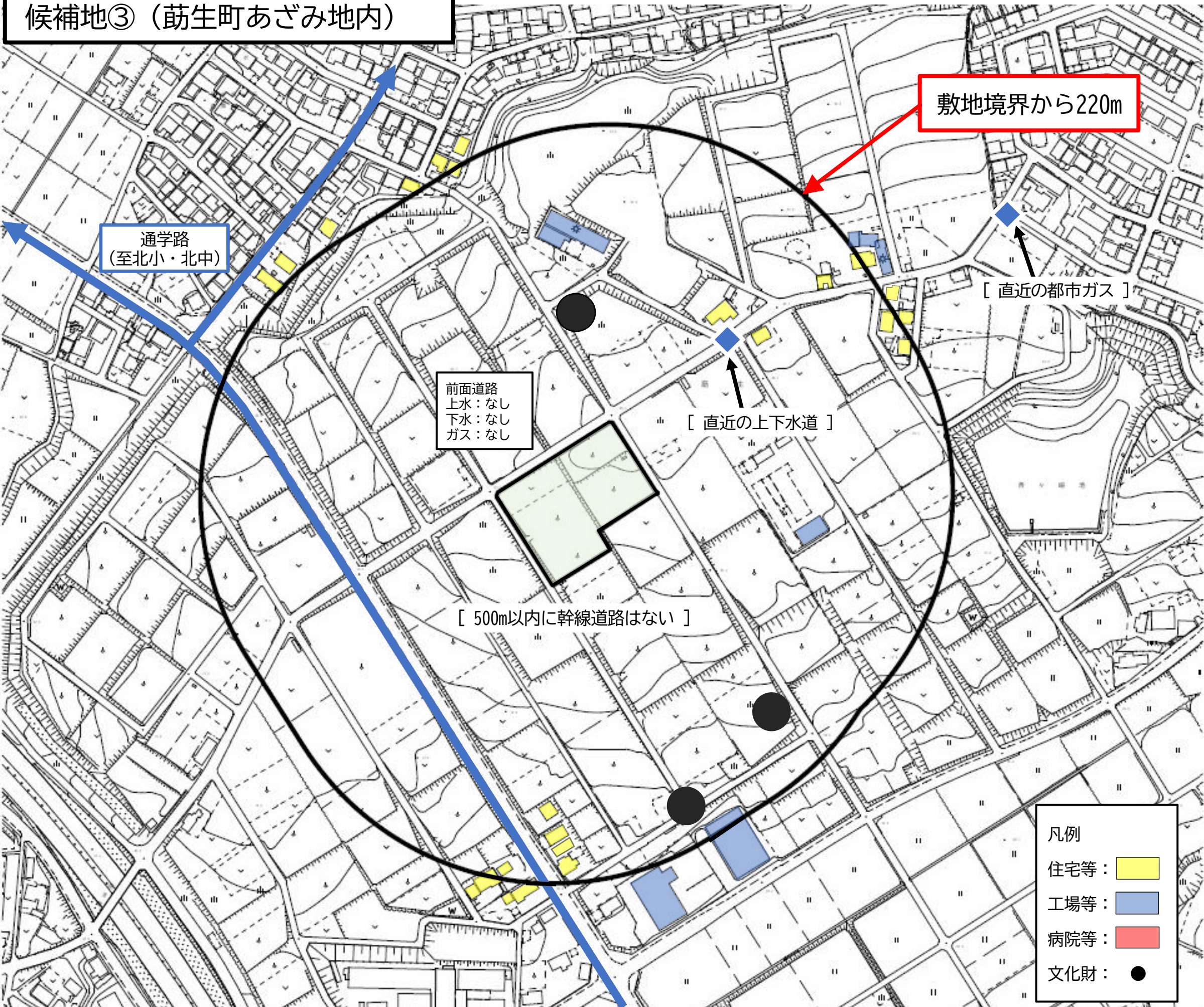
資料 1 (別添②)



候補エリア②	
場所	三好丘旭4丁目地内
面積	約7,100m ²
評価項目	内容
① 都市計画法上の用途地域	市街化区域 用途：第1種中高層
② 農地法の該当	無
③ 埋蔵文化財包蔵地の有無	無
④ 浸水想定区域の有無	無
⑤ 土砂災害(特別)警戒区域の有無	無
⑥ 砂防3法の有無	無
⑦ 幹線道路からのアクセス	500m未満
⑧ 市内葬儀場からの距離	5 km以上
⑪ 学校等教育施設までの距離	220m以上
⑫ 病院・福祉施設までの距離	220m以内
⑬ 商業・集客施設までの距離	220m以上
⑭ 住宅までの距離	220m以内
⑮ 周囲の住宅の数	10軒以上
⑯ 通学路該当の有無	無
⑰ 生活関連道路の通過	無
⑳ 水道管の状況	無
㉑ 都市ガスの状況	有
㉒ 敷地の状況 (大規模盛土造成地)	無

候補地③（苅生町あざみ地内）

資料 1 (別添②)



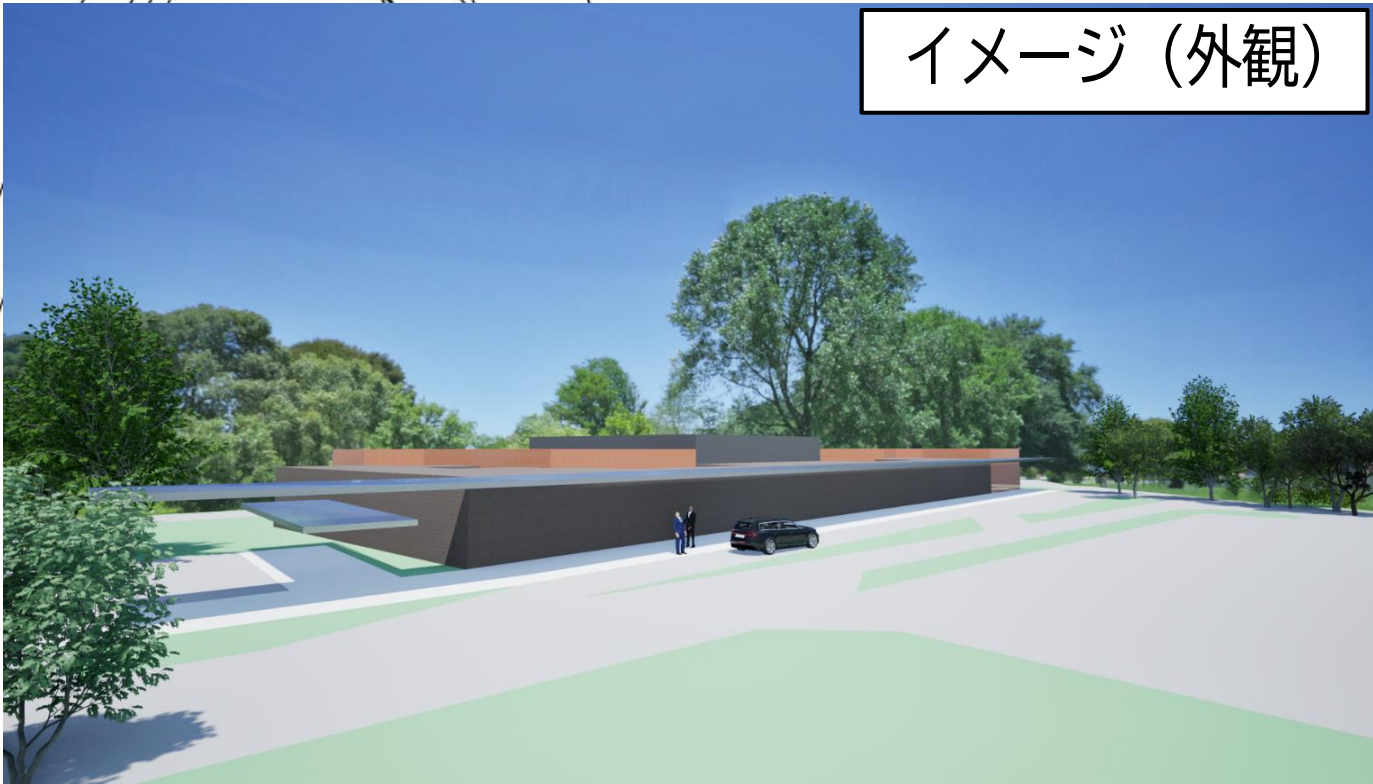
候補エリア③	
場所	勘生町あざみ地内
面積	約7,100㎡
評価項目	内容
① 都市計画法上の用途地域	市街化調整区域 用途：指定なし
② 農地法の該当	有（農用地区域）
③ 埋蔵文化財包蔵地の有無	無（周りには有）
④ 浸水想定区域の有無	無
⑤ 土砂災害（特別）警戒区域の有無	無
⑥ 砂防3法の有無	有（砂防指定地）
⑦ 幹線道路からのアクセス	500m以上1km未満
⑧ 市内葬儀場からの距離	3km以上5km未満
⑪ 学校等教育施設までの距離	220m以上
⑫ 病院・福祉施設までの距離	220m以上
⑬ 商業・集客施設までの距離	220m以上
⑭ 住宅までの距離	220m以内
⑮ 周囲の住宅の数	10軒以上
⑯ 通学路該当の有無	有
⑰ 生活関連道路の通過	有（幅員・歩道有）
⑳ 水道管の状況	無
㉑ 都市ガスの状況	無
㉒ 敷地の状況 （大規模盛土造成地）	無

候補地②（三好丘旭4丁目地内）

イメージ（配置）

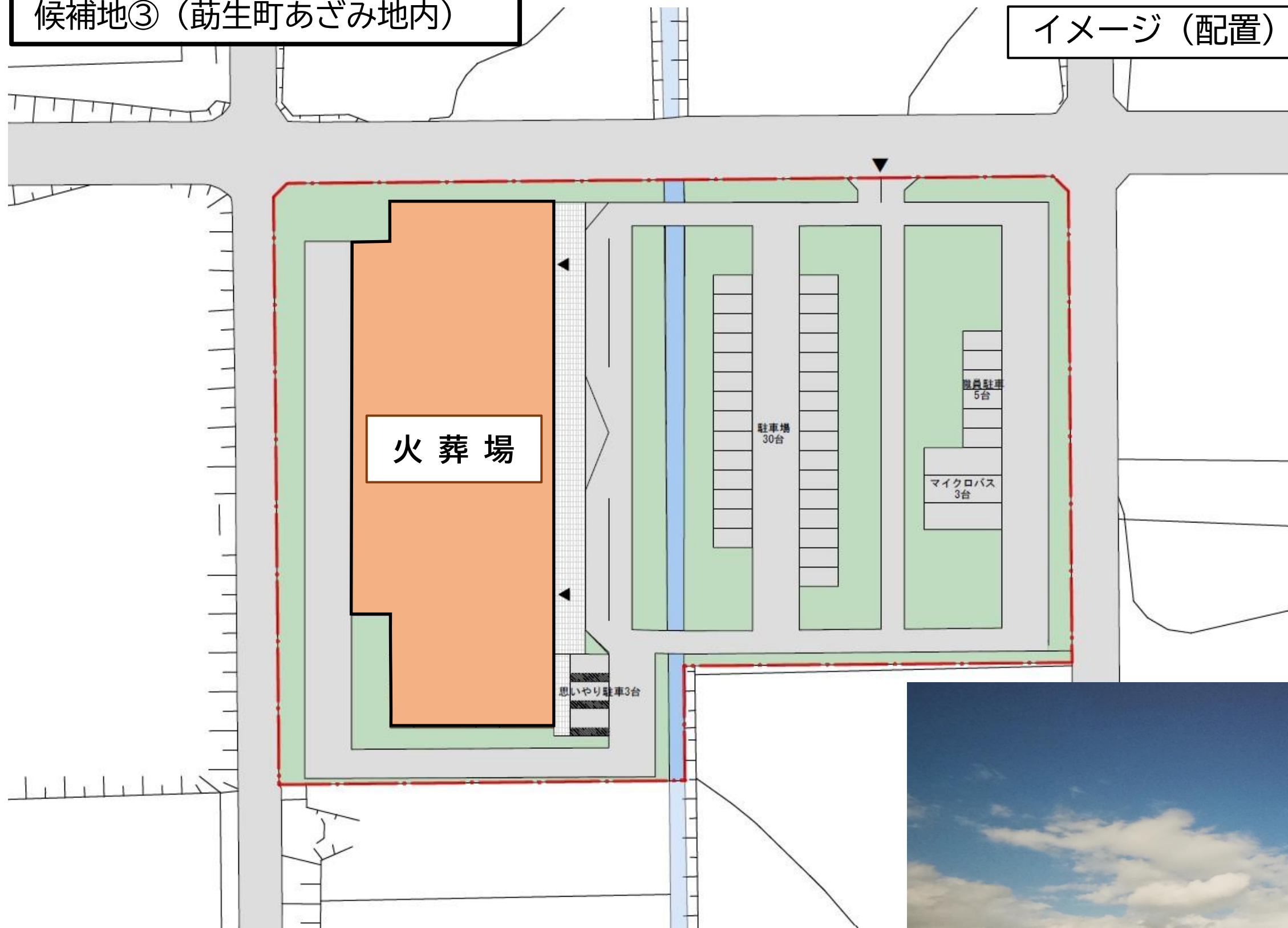


イメージ（外観）

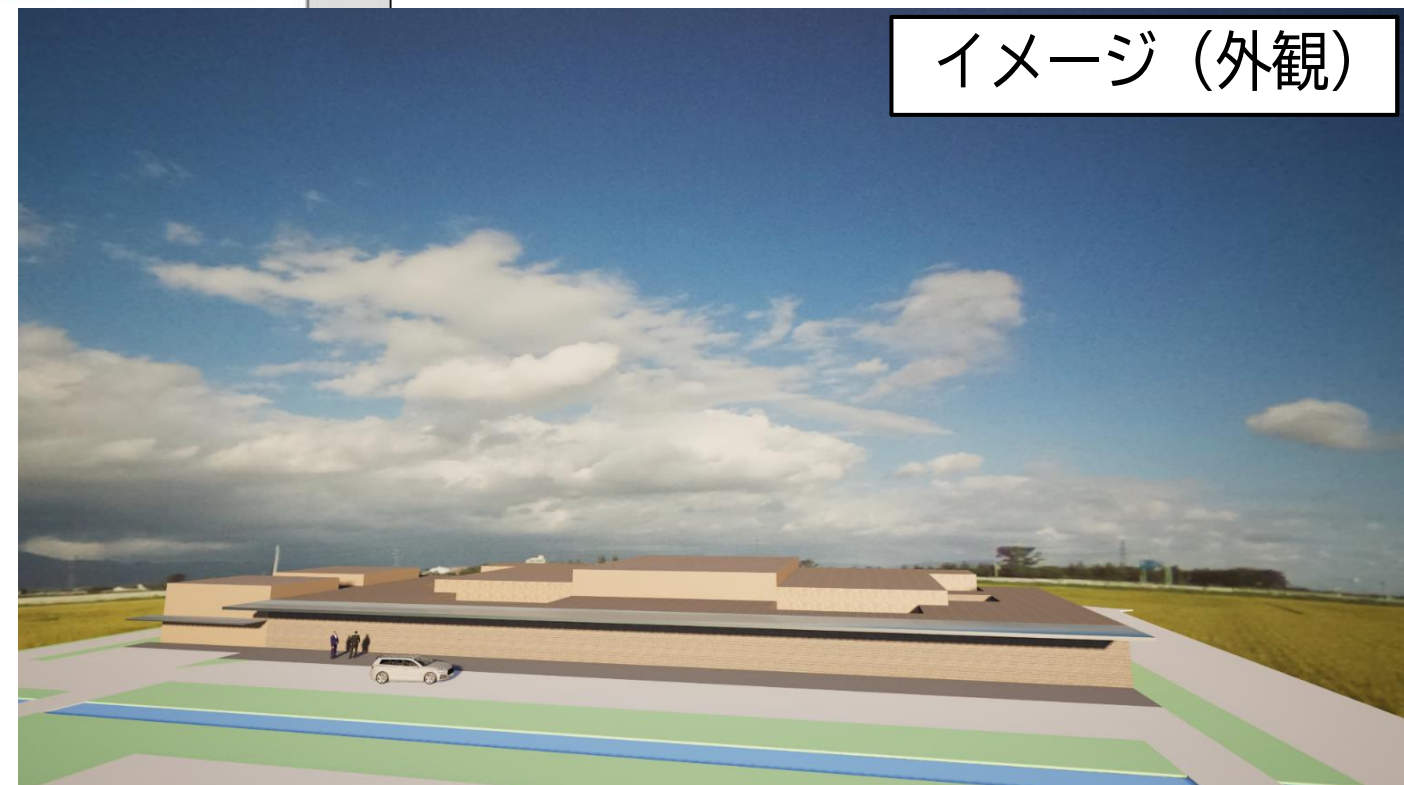


候補地③（苅生町あざみ地内）

イメージ（配置）



イメージ（外観）



豊田都市計画区域 みよし市都市計画図

嵐 初 級 引	愛知告示第919号	昭和45年11月24日
市街地B区域	愛知告示第153号	昭和6年3月23日
市街地C区域	みよし市告示第36号	令和6年3月21日
特別工業地区	みよし市告示第67号	令和2年6月12日
都市計画道路	愛知告示第319号	平成5年7月28日
	みよし市告示第39号	平成22年12月24日
都市計画公園	愛知告示第717号	平成23年12月6日
	みよし市告示第149号	令和4年12月20日
都市計画緑地	みよし市告示第10号	平成27年3月17日
防災・防災拠点地	みよし市告示第49号	平成28年6月22日
地区計画	みよし市告示第37号	令和6年3月21日

候補地②

候補地③

[illegible][illegible]

(注) 本図は一般参考図であるため、詳細については愛知県及びみよし市の建築用都市計画図書を参照して下さい。

みよし市農業振興地域整備計画
土地利用計画図(附図1号)

候補地②

候補地③

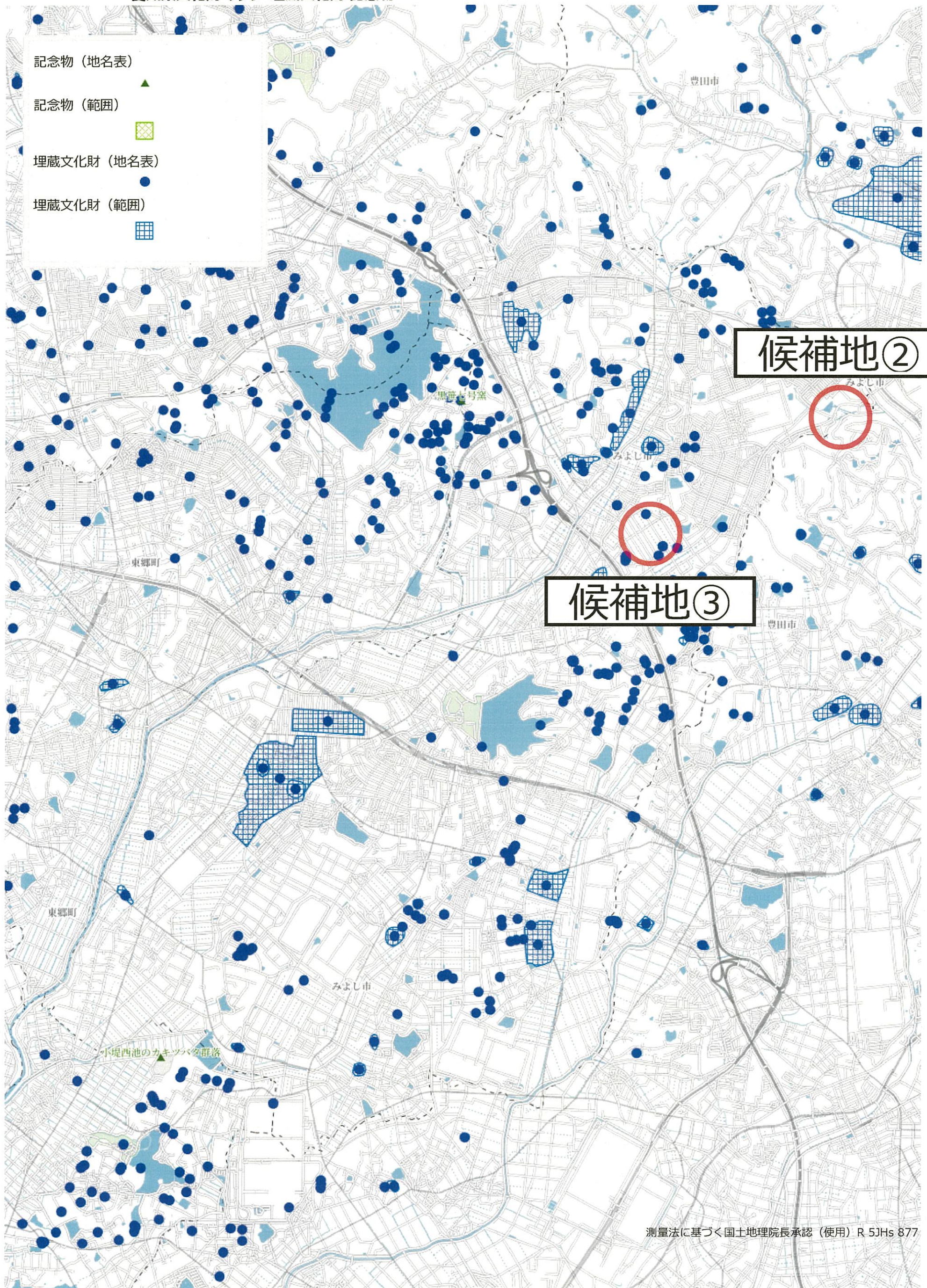
地域指定	昭和45年4月24日	愛知県告示第357号
認可	昭和47年3月4日	
特別管理地域認可	昭和51年6月8日	
一部変更	昭和54年3月2日	愛知県告示第211号
一部変更	昭和57年7月2日	愛知県告示第688号
一部変更	昭和59年4月4日	愛知県告示第374号
一部変更	平成3年2月27日	愛知県告示第112号
一部変更	平成4年3月30日	愛知県告示第353号
農産・農村総合振興計画認可	昭和63年8月5日	
特別管理地域認可	平成8年5月30日	
一部変更	平成9年4月18日	愛知県告示第370号
一部変更	平成12年10月31日	愛知県告示第861号
特別管理地域認可	平成19年1月31日	



令和6年4月 公告分

凡 例	
市 町 村 界	---
農業振興地域界	—
農用地区域及び用途区分界	—
農 用 地	■
農業用施設用地	■
市 街 化 区 域	■
都市計画道路	—

(注) 本図は一般参考図であるから、詳細については
愛知県告示第112号及びみよし市都市計画部課の
農産・農村総合振興計画を参照して下さい。



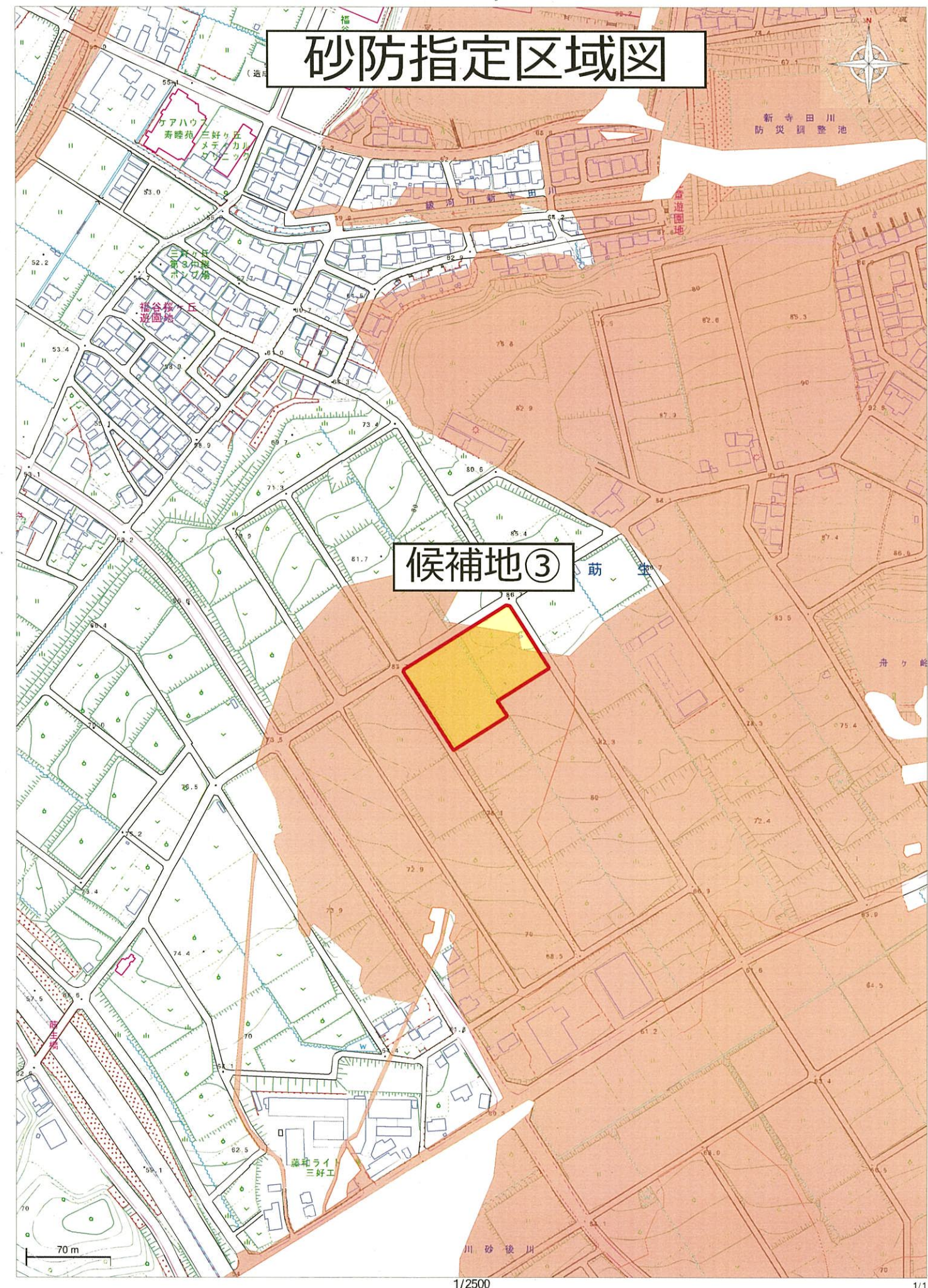
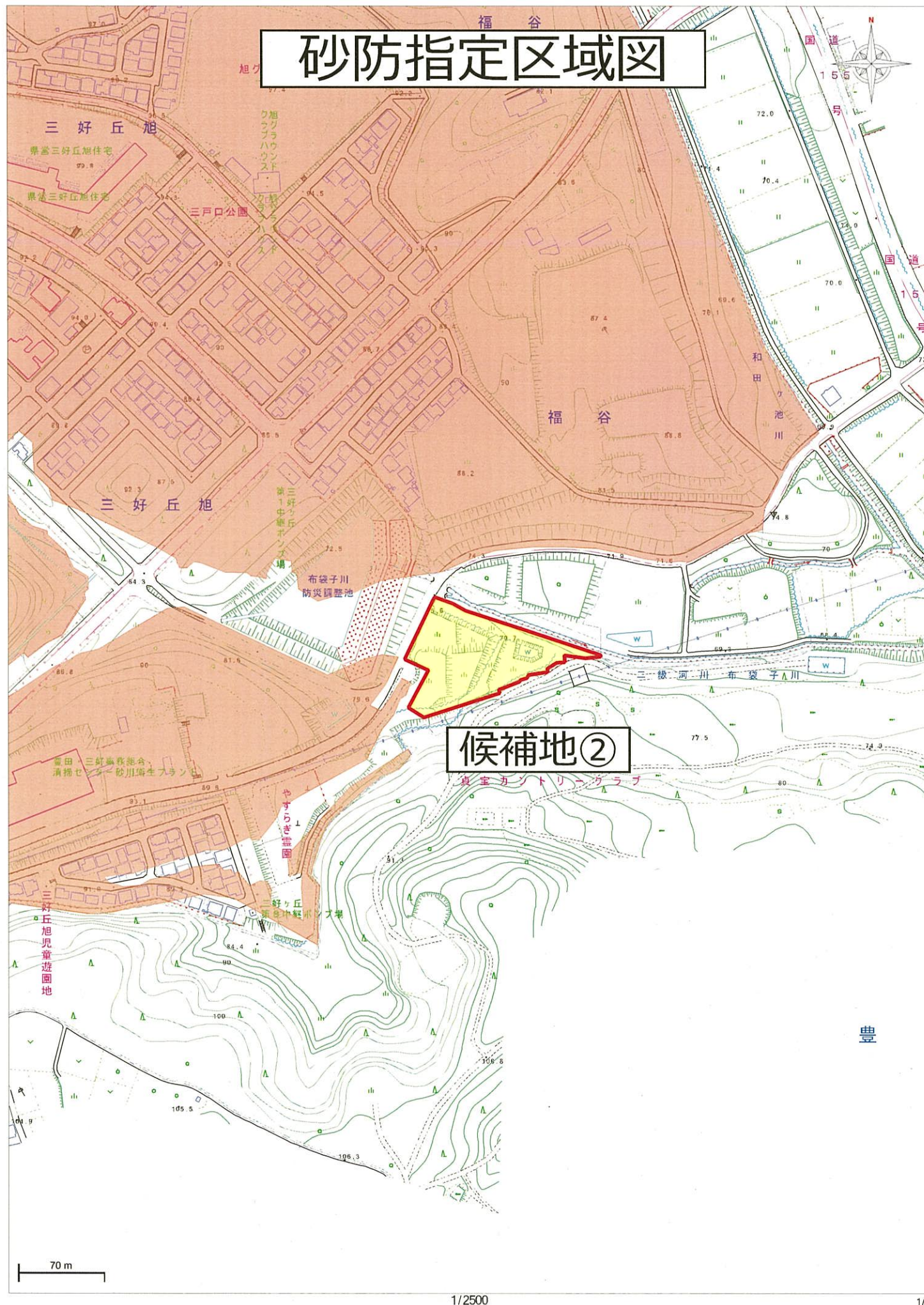




図 道路・交通の方針

葬儀場からの距離

7 km

候補地②

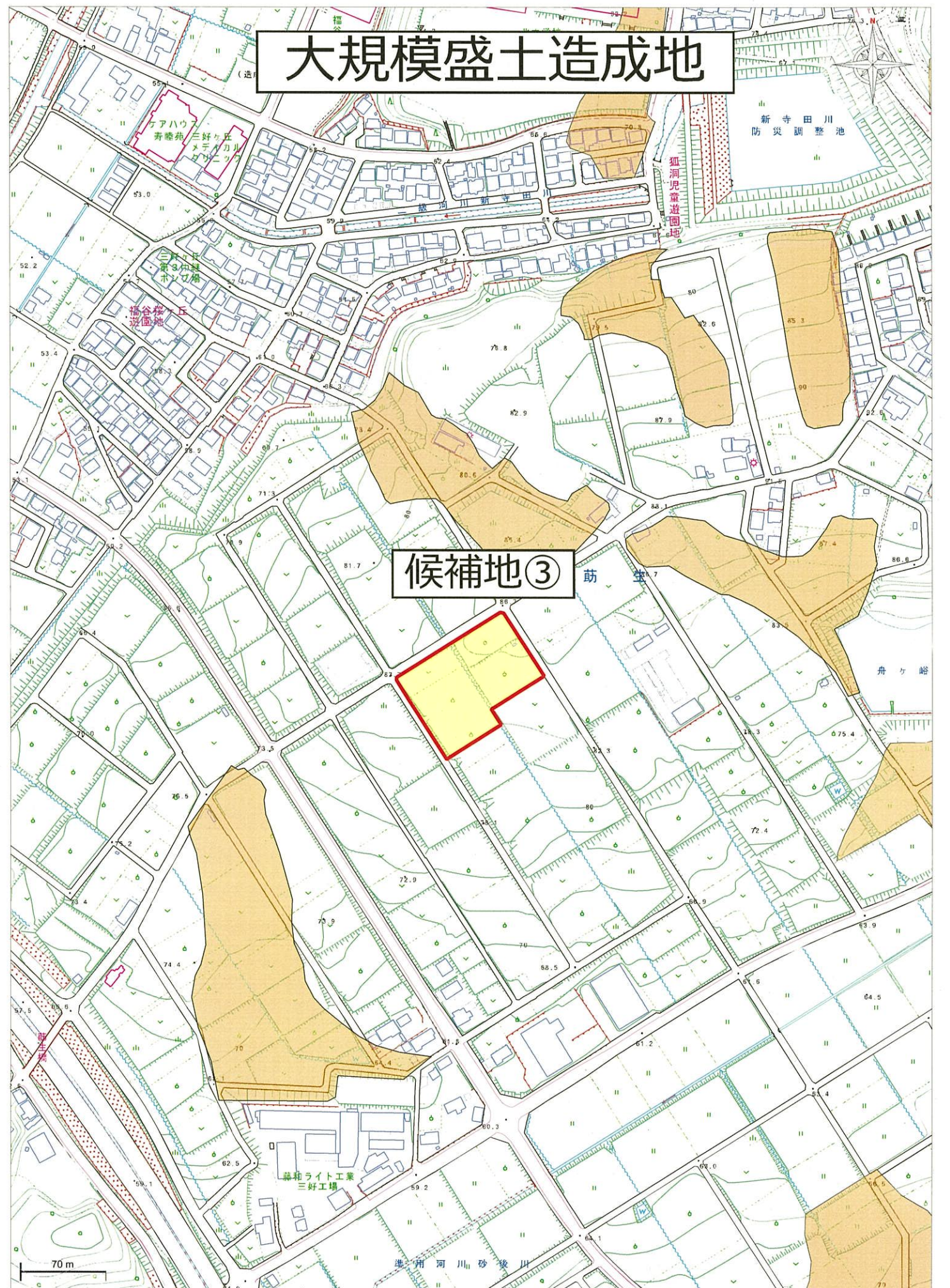
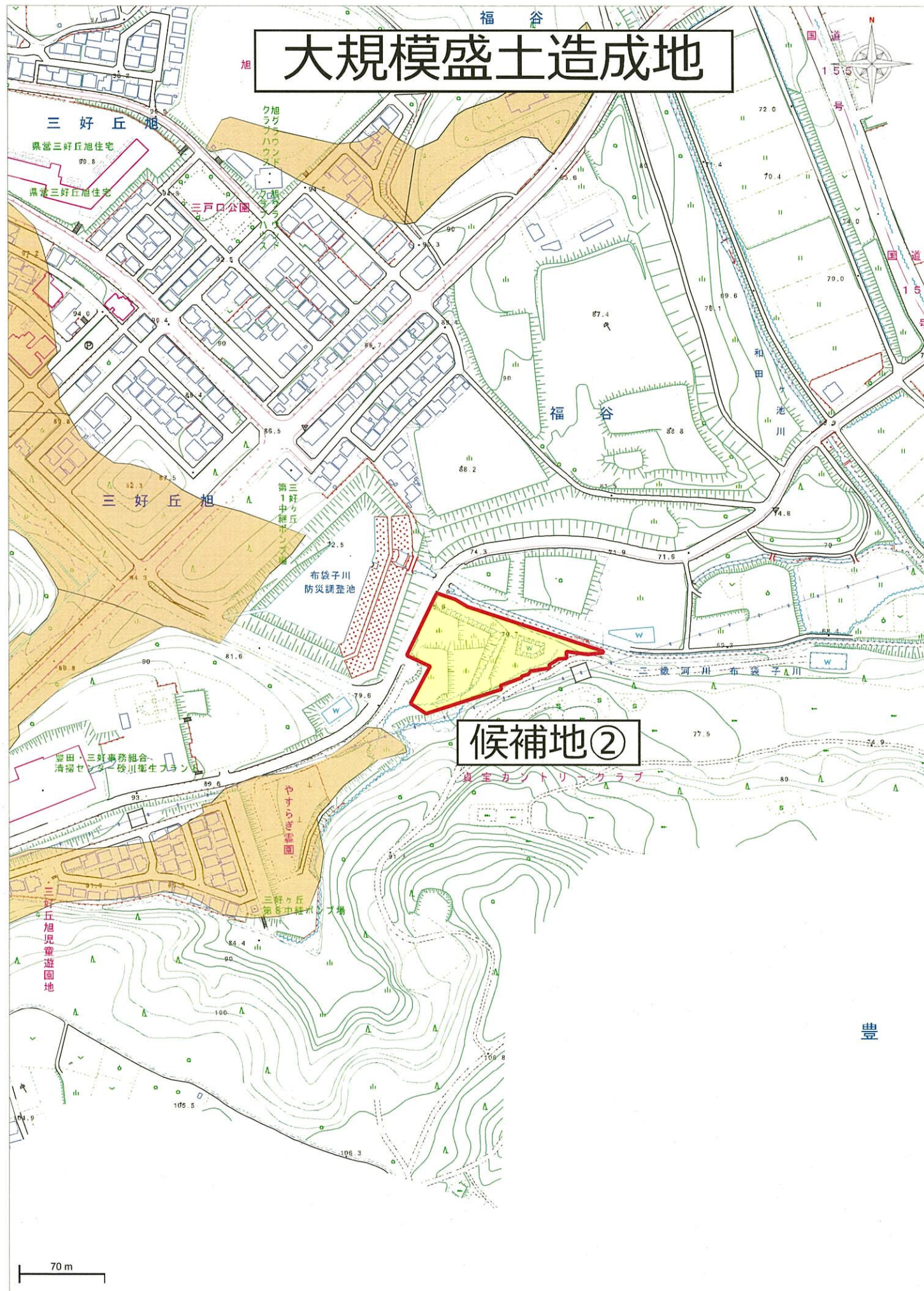
5 km

候補地③

3 km

市内葬儀場の重心





議題 2 火葬場建設候補地二次選定について

資料 2（別添）

二次選定評価シート

参照

○火葬場建設候補地二次選定評価シート

評価の区分 (基本方針)	評価の 視点	評価項目	評価方法	配点	評価基準	満点	候補地②	候補地③
							評点	評点
(1)立地及び周辺環境に関する項目(立地) 基本方針③： 周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設	考慮すべき地域	① 都市計画法上の用途地域	用途地域による影響の少ない場所を優れていると評価する。	3	用途地域指定なし（市街化調整区域）	3		
				2	用途地域指定あり（工業系・商業系）			
				1	用途地域指定あり（住居系）			
		② 農地法の該当	農地法の規制区域に該当していない場所を優れていると評価する。	3	農業振興地域内ではない	3		
				2	農業振興地域内であるが、農用地区域ではない			
				1	農業振興地域内の農用地区域である			
		③						
	災害リスク	④ 浸水想定区域の有無	浸水想定区域に該当しない場所を評価する。	6	浸水想定区域に該当していない	6		
				2	浸水想定区域に該当している			
		⑤ 土砂災害(特別)警戒区域の有無	土砂災害（特別）警戒区域に該当しない場所を評価する。	6	土砂災害（特別）警戒区域に指定されていない	6		
				2	土砂災害（特別）警戒区域に指定されている			
		⑥ 砂防3法(砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域)の有無	砂防3法に該当しない場所を評価する。	6	砂防3法の指定区域に該当していない	6		
				2	砂防3法の指定区域に該当している			
		利便性	⑦ 幹線道路からのアクセス	幹線道路からアクセスしやすい場所を優れていると評価する。	3	幹線道路からの距離が500m未満	3	
	2				幹線道路からの距離が500m以上1km未満			
	1				幹線道路からの距離が1km以上			
	⑧							
	景観	⑨ 敷地周囲の景観	良好な景観が守られている場所を優れていると評価する。	6	敷地周囲に自然な風景が残されている	6		
				4	敷地周囲に宅地化が進んでいない			
				2	敷地周囲の宅地化が進んでいるかつ周囲に大規模な工作物がある			
		⑩ 周辺の開発計画の状況(周辺環境の安定性)	事業完了後も良好な景観が保全される場所を優れていると評価する。	6	開発の計画が無い	6		
				2	開発の計画が有る又は見込まれる			
(1)立地及び周辺環境に関する項目(周辺環境) 基本方針③： 周辺環境に配慮して誰もが安全安心に利用できる施設	配慮すべき施設	⑪ 学校等教育施設までの距離	敷地境界から220m以内に学校等教育施設が無い場所を評価する。	3	220m以内に該当施設が無い	3		
				1	220m以内に該当施設が有る			
		⑫ 病院・福祉施設までの距離	敷地境界から220m以内に病院等が無い場所を評価する。	3	220m以内に該当施設が無い	3		
				1	220m以内に該当施設が有る			
		⑬ 商業・集客施設までの距離	敷地境界から220m以内に商業・集客施設が無い場所を評価する。	3	220m以内に該当施設が無い	3		
				1	220m以内に該当施設が有る			
	生活圏の近接度	⑭ 住宅までの距離	敷地境界から住宅までの距離が離れている場所を優れていると評価する。	3	220m以内に住宅が無い	3		
				1	220m以内に住宅が有る			
		⑮ 周囲の住宅の数	周囲に住宅が少ない場所を優れていると評価する。	3	220m以内に住宅が無い	3		
				2	220m以内の住宅は10軒未満			
				1	220m以内の住宅が10軒以上			
		⑯ 通学路該当の有無	敷地の周囲の道路が通学路に該当していない場所を優れていると評価する。	3	通学路に該当しない	3		
	1			通学路に該当する				
	周辺環境への影響	⑰ 生活関連道路の通過	霊柩車などの会葬車両が集落内の道路を通過する必要がある場所を優れていると評価する。	3	集落内の道路を通過する必要は無い	3		
				2	集落内の道路を通過するが、十分な幅員が確保されている			
				1	集落内の道路を通過する必要があるが、かつ十分な幅員が確保されていない			
		⑱ 周辺からの遮蔽性(周囲に与える影響)	周辺からの遮蔽性が容易に確保できる場所を優れていると評価する。	6	既存緑地等で遮蔽可能である	6		
				4	植樹、盛土等の対策を講じることにより遮蔽可能である			
				2	遮蔽することが難しい			
	落ち着いた環境	⑲ 周囲の自然環境	緑地が多く周囲と調和した整備が可能な場所を優れていると評価する。	6	敷地の周囲が宅地化されておらず、緑地が多く残されている	6		
				4	敷地の周囲が宅地化されていない			
				2	敷地の周囲が宅地化されている			
		⑳ 騒音要因の状況(近くに騒音発生源が無い)	周囲に騒音の発生のおそれが少ない場所を優れていると評価する。	6	騒音発生要因となる施設等が近くに無い	6		
				4	騒音の影響が考えられる			
				2	騒音発生要因となる施設が近接している			
					(1)小計			

○火葬場建設候補地二次選定評価シート

評価の区分 (基本方針)	評価の 視点	評価項目		評価方法	配点	評価基準	満点	候補地②	候補地③			
								評点	評点			
(2)経済性及び事業効率性に関する項目(経済性) 基本方針④： 環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設	事業費の多寡	㉑	用地取得費	用地取得費が少ない場所を優れていると評価する。	6	概算費用による評価	6					
					4							
					2							
		㉒	道路整備費	道路整備費が少ない場所を優れていると評価する。	6	道路の拡幅が必要ない	6					
					4	道路の拡幅が必要である						
					2	新たな道路の整備が必要である						
		㉓	土地造成費	土地造成費が少ない場所を優れていると評価する。	6	整地されていて造成工事が必要ない	6					
					4	造成工事が必要である						
					2	法面・擁壁などの大規模な造成工事が必要である						
		㉔	水道管の状況	上水道の供給が容易な場所を優れていると評価する。	3	接する道路に水道管が敷設されている	3					
					1	接する道路に水道管が敷設されていない						
		㉕	都市ガスの状況	都市ガスの供給が容易な場所を優れていると評価する。	3	接する道路にガス管が敷設されている	3					
					1	接する道路にガス管が敷設されていない						
(2)経済性及び事業効率性に関する項目(事業効率性) 基本方針④： 環境負荷を抑えて維持管理しやすい持続可能な施設	整備のしやすさ	㉖	敷地の状況	地形的に安定している場所を優れていると評価する。	6	人工改変地形（盛土地・埋立地等）でない	6					
					2	人工改変地形（盛土地・埋立地等）である						
		㉗	配置計画のしやすさ (敷地の形状)	整形地で高低差が小さく、建設等における施設配置がしやすい場所を優れていると評価する。	6	施設配置の自由度が高い（整形地かつ高低差が小さい）	6					
					4	施設配置に調整が必要（変形敷地又は高低差が大きい）						
					2	施設配置に制限が多い（変形敷地かつ高低差が大きい）						
		㉘	建設工事のしやすさ	敷地周辺の状況により建設工事に制限がかからない場所や工事車両が円滑に出入りできる場所を優れていると評価する。	6	建設工事の際に曜日や時間等の制限が無く、かつ工事車両が円滑に出入りできる	6					
					4	建設工事の際に近隣との調整が必要になる又は工事車両が円滑に出入りできない						
					2	建設工事の際に工程や状況に応じて休工期間が発生し、かつ工事車両が円滑に出入りできない						
		㉙	用地確保のしやすさ	用地確保のために地権者との交渉が必要ない場所を優れていると評価する。	6	想定される地権者がいない（市有地）	6					
					2	想定される地権者がいる（民有地）						
		㉚	事業完了までの想定期間	事業完了までに想定される期間が短い場所を優れていると評価する。	6	用地取得及び道路整備の必要がない	6					
					4	用地取得又は道路整備の必要がある						
					2	用地取得及び道路整備の必要がある						
									(2)小計			
									合計			

二次選定評価結果

※評点は、委員の合計評点数

評価の区分	候補地② 評点	候補地③ 評点
(1)立地及び周辺環境	6 3 6 点	5 4 9 点
(2)経済性及び事業効率性	3 9 6 点	3 2 4 点
合計	1,032 点	8 7 3 点